

No. 347

RENGO FUKUOKA

2019年7月1日発行

発行:日本労働組合総連合会福岡県連合会

発行人・編集人:矢田信浩

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル TEL. 092-283-5529 FAX. 092-283-5611

連合福岡のホームページ http://www.rengo-fukuoka.jp/ 連合福岡のメールアドレス info@fukuoka.ituc-rengo.jp

政治の流れを変えるのは

和危伤如1票です

第25回参議院議員選挙が7月に執行される予定です。

よりよい社会にしていくためには、私たちの意見を実現する代表者が必要です。その代表者を決めるのが選挙であり、私たちは選挙を通して政治に参加することになります。

しかし、4月に執行された第19回統一地方選挙の投票率は、福岡県知事選挙の投票率は42.72%、同日に投開票が行われた福岡県議会議員選挙の投票率は43.32%と前回の統一地方選挙より若干上回ったものの半数以上の有権者が投票に行かなかったことが明らかになりました。特に、20代~30代の投票率は30%台と低迷しています。若者の選挙離れと言われて久しいですが、このままでは議会制民主主義が危機的状況に陥ってしまう事も考えられます。

第25回参議院議員選挙は、安倍一強政治からの脱却として、私たちの思いを清き1票に託しましょう。

参議院選挙のしくみ

参議院は衆議院と異なり解散がなく、任期は6年と定められていて、3年ごと に定数の半数が入れ替わるよう選挙が行われます。



また、参議院選挙は各都道府県の区域を選挙区の単位とした「**選挙区選挙」**と、 全国を単位とした「**比例代表選挙**」があります。

有権者は**「選挙区」**と**「比例代表」**それぞれに投票するため、1人が「2票」投票することになります。

投票に行けない方は「期日前投票」をしましょう。

告意~問

参院選比例代表選挙の投票用紙には候補者名を!

参議院選挙が間近に迫ってきました。その比例代表の投票用紙には「候補者名」「政党名」どちらかを 記入しますが、どちらを記入しても同じだと思っていませんか? 応援している仲間を当選させ、働く人 の声を国政に届けるためには、**「候補者名」を書く** ことが大切です。



、が"今の政策、働く人が主役ではない"と回答

連合は、昨年9月からクラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーンとして、「Action!36」や「社会的課題に関する世論喚起」の取り組みを展開し、暮らしの「底上げ」に対する国民の認識を高め、「働く人が報われる社会」を念頭においた社会的対抗軸を広く国民に訴える運動をすすめています。

連合福岡としても、連合本部の取り組み内容を踏まえ、昨年11月から2019春季生活闘争や労働相談ホットラインなどの取り組みと連動させながら具体的な活動を展開してきたところであります。また、本年4月からは「社会的課題に関する世論喚起」の取り組みの一環として、「①暮らし、苦しくなっていませんか、②仕事、きちんと報われていますか、③老後や子育て、不安はありませんか、

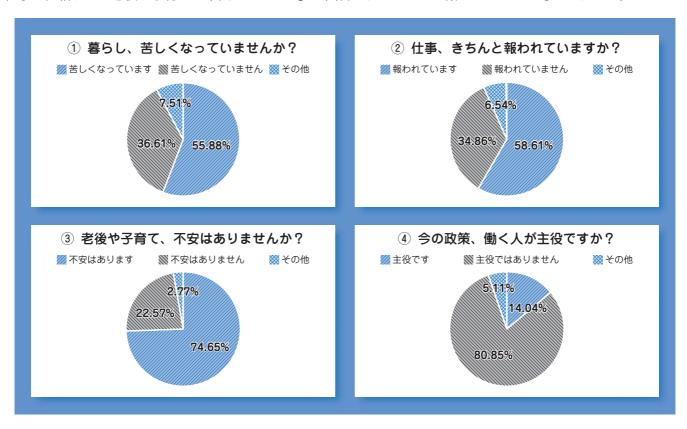
4今の政策、働く人が主役ですか」の4つのキーメッセージの呼び



かけと声をあげて行動することの大切さを訴えるとともに、4つのキーメッセージに対する『街頭アンケート』を各地域協議会と連携を取り実施してきました。(アンケートの回答者数;平均488人)

そのアンケート結果を見てみると、「58.6%の人が仕事はきちんと報われているものの、55.8%の人が暮らしは苦しくなっている」との回答でした。このことは、現在の仕事に対す安心感は窺えるが、アベノミクスで暮らしは良くなっていないことを表わしていると考えられます。

4つのキーメッセージの設問で、否定的な回答の割合が一番大きかったのは、『今の政策、働く人が主役ですか』でした。80.8%の人が「主役ではありません」との回答を選択し、その背景の一つには74.6%の人が生活と仕事に直結する「老後や子育てに不安はあります」と回答されたことにも繋がっていると考えられます。



ここ数年、私たちの生活に大きな影響を与える重要法案が国会で審議されていますが、ズサンな法案提出や日程ありきで十分な審議が行われないなど、安倍政権の不誠実な国会運営に批判が集中しています。一強多弱と言われる数の力で強行的に採決を行い、国会での法案の精査も行わず、法案を成立させるだけが目的化した現状は、国会の立法機能を無下にするばかりか、民主主義を冒とくするものであり、さらには国民に政治への不信感を増長した行為でもあり、到底許されるものではありません。

連合は、一人ひとりの声を受け止め、連合の声をさらに大きくして、働く者や生活者を中心とした「働くことを軸とする安心社会」をめざします。

「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう!」 ~ 今年も連合平和4行動が始まりました ~

連合は6~9月を「全国平和運動強化月間」と設定しており、世界恒久平和の実現に向けて、構成組織や地域協議会と一体となり、積極的に取り組みを展開しています。

2020年は核兵器不拡散条約 (NPT) 再検討会議が5年に1度開催される年で、唯一の戦争被爆国である日本が世界の先頭に立って、原爆による悲惨

連合2019平和行動 日程

- 1.「沖縄」6月23日(日)~24日(月)
- 2.「広島」8月5日(月)~6日(火)
- 3. 「長崎」 8月8日(木)~9日(金)
- 4.「根室」9月7日(土)~8日(日)



な事実を風化させることなく、核兵器廃絶に向けた取り組みを進めていく必要性から、広島・長崎で開催される平和行動では「2019平和シンポジウム」として、「2020核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けたキックオフ集会」を開催します。合わせて「核兵器禁

止条約」の発効をめざし、【核兵器廃絶1000万署名】に取り組んでいますので、皆さまのご協力をお願いします。

日本の当たり前は、外国の当たり前ではない 青年委員会 「国際交流2019」



2019年6月1日(土)、博多バスターミナルにおいて、青年委員会(ユースター委員会)「国際交流2019」を開催しました。異国のさまざまな考え方や発想、日本との違いを学び、体験することで、多角的・多面的で柔軟な視野や考え方を身に付けるきっかけ作りとして、毎年開催しています。今年は、ベ



講師4名と一緒に



アイスブレーキング



ベトナムの民族衣装を着た青年委員会幹事

ワークルールセミナー ~ ワークルール検定事前学習会 ~ 開催!!



熊本大学中内教授

ワークルールセミナーは、連合組織内外組合員のワークルール習得による労働問題の未然防止」を目的に、地域協議会と連携を図りながら2014年より開催しています。

2019年度のワークルールセミナーは、基本理念である「労働問題の未然防止」を組織内に広く波及させていくため、6月9日(日)開催の「ワークルール検定2019・春(初級)福岡会場」の事前学習会として、5月31日(金) T K P ガーデンシティ博多、6月6日(木) T K P 小倉駅前カンファレンスセンターで、合計50名の方に参加いただき開催しました。

講師には熊本大学の中内教授を招き、2019年度版ワークルール検定「初級テキスト・問題集」を基に、6分野(労働法総論・労働契約・賃金・労働時間等・雇用終了・労働組合法)についてポイント

を絞り説明がありました。どちらの会場とも 18時30分より2時間のセミナーとなりました が、仕事終わりで疲れているのにも関わらず、 参加者は熱心に講師の話を聞いていました。

終了後の参加者からは、「かなり参考になる 学習会だった」「要点を抑えて説明いただき勉 強になった」等の意見が多数あり、当初の目的 を達成できる内容となりました。



福岡会場(2019.5.31)



北九州会場(2019.6.06)

第25回参議院選挙の必勝に向けた特別決議(案)

決戦の時が目前に迫っている。

第二次安倍政権発足以降、政府・与党による独善的な運営は、国会を機能不全に陥らせてきた。

国民生活に大きく影響する法案が複数提出された第197臨時国会では、杜撰な法案内容や日程ありきの審議により最後まで熟議が尽くされることはなかった。また、財務省の森友学園に関わる資料改ざん、防衛省による南スーダン国連平和維持活動(PKO)の日報隠蔽問題、厚生労働省の統計不正など、政府による情報の隠蔽・改ざんは民主政治の根幹を揺るがす重大な危機を招いている。

閣僚等の不適切発言による度重なる辞任なども踏まえれば、政府・与党における弛みや驕りの蔓延は否定しがたく、これらすべては一強政治・長期政権の弊害に他ならない。

他方、「アベノミクス」と呼ばれる一連の経済政策は、その恩恵が一部の大企業・富裕層に留まり、多くの働く者・生活者が景気回復を実感できない中、金融政策頼みの経済財政運営はもはや限界を迎えていると言わざるを得ない。加えて、財政健全化や社会保障改革は先送りされ、人口減少・少子高齢化など我が国の重要課題も依然残されたままである。

いま政治が責任を持つべきは、すべての働く者・生活者が安心して暮らせる社会を実現することであり、未来に 希望を持つことのできる新たな選択肢を示すことである。そして、そのためには、政策で切磋琢磨する緊張感ある 二大政党的体制を実現し、健全な議会制民主主義を取り戻さなければならない。

その意味で、今夏の第25回参議院選挙は、連合が掲げた目指すべき社会像「働くことを軸とする安心社会の継承と深化」を共有する政治勢力を結集し、立憲主義、民主主義をないがしろにする現政権与党と対峙する極めて重要な闘いとなる。

連合は、昨年5月の中央執行委員会で、「第25回参議院選挙の基本方針」を決定し、これまでに、比例代表選挙で組織内候補者10名、選挙区選挙で候補者35名の推薦を決定した。とりわけ、10名の組織内候補者が挑戦する比例代表選挙は、まさに連合の組織力が問われる闘いである。

来たるべき決戦に向け、連合は構成組織と地方連合会・地域協議会の取り組みを連携・融合させ、700万組合員の総力を結集することで、組織内候補者はもとより連合推薦候補者全員の必勝を誓う。

以上決議する。

2019年6月6日 第25回参議院選挙 連合総決起集会

SCHEDULE これからの主な日程

- 7月4日▶第25回参議院議員選挙 公示日 ※
 - 21日▶第25回参議院議員選挙 投開票日 ※
 - 24日▶第20回政治センター委員会

第21回四役会議

29日▶第23回執行委員会

8月1日▶政策・制度セミナー

2日▶連合福岡推薦労働審判員研修

5~6日▶平和行動in広島

8~9日▶平和行動in長崎

※この日程については、政治動向により変更の可能性があります。



形んでも法律相談

※申し込み、問い合わせは、最寄りの地域協議会・ 労福協(地域労福協)に電話で予約して下さい。 10時~17時(土日祝日を除く)

 エリア
 7月
 8月
 エリア
 7月
 8月

 福
 9日(火) 23日(火)
 27日(火)
 遠 賀 川 26日(金)
 30日(金)

 筑紫・朝倉
 2日(火)
 6日(火)
 北 九 州 17日(水)
 21日(水)

 北 筑 後 23日(火)
 20日(火)
 京築・田川 3日(水)
 7日(水)

 南 筑 後 10日(水)
 21日(水)
 ※開催済みの日程も掲載しております

